



NEW YEAR CONCERT

2017. 1. 9 MON. 15:00
OTARU

4 SEASONS CONCERT

2017. 1. 15 SUN. 15:00
OTARU
1. 16 MON. 19:00
TOKYO

主催／ヴィオラマスタークラス実行委員会
小樽公演共催／小樽市民センター・マリンホール
助成／一般社団法人ビトウイン・ミュージック・タイズ
奨学金助成／諸角 憲治
特別協賛／東洋化工株式会社

後援／小樽市、小樽市教育委員会、(社)小樽観光協会、北海道新聞小樽支社、NPO法人小樽・朝里のまちづくりの会
協賛／(株)アンビックス／小樽・朝里クラッセホテル／ニセコ昆布温泉・ホテル甘露の森／(有)北海道新聞中販売所
北海道保険医会小樽後志支部／医療法人社団すみえ医院／医療法人清水桜が丘病院(釧路市)／(同)ウェーブ・ワイ
ホンダカーズ小樽(株)／下山楽器／OSN小樽観光ネットワーク／ペンション・シャドウクラッセ
表紙画／版画「Stars」by アオヤマ ヤスコ <http://www.colorier.org/>

東京公演お問い合わせ／株式会社 AMATI TEL.03-3560-3010

小樽公演お問い合わせ／ヴィオラマスタークラス実行委員会 TEL.0134-54-4174 (高野)

EMAIL vmc.takano@gmail.com WEB <http://vmc-otaru.info/>

OTARU VIOLA MASTER CLASS 2017

第13回 ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス

■ 第13回 ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス 2017

ニューイヤーコンサート New Year Concert

2017年1月9日(月・祝) 15時開演 小樽市民センター・マリホール

ターティス：2つのヴィオラのためのヘンデルのパスサカリアによる変奏曲

Lionel Tertis：Variations on a Passacaglia of Handel for Two Violas

1. ジュ・シェン 2. チンハン・リン (ヴィオラ)

ブラームス：チェロ・ソナタ第1番 ホ短調 作品38

Johannes Brahms：Cello Sonata No. 1 in E Minor, Op. 38

今井信子 (ヴィオラ) 草冬香 (ピアノ)

***** 休憩 *****

パーセル：3声のソナタ 第1番 Z.790 (大槻晃士編)

Henry Purcell：Sonata a 3 No. 1 in G Minor, Z. 790 (arr. Koji Otsuki)

小笹文音 (ヴィオラ) 大槻晃士 (ヴィオラ・ダ・スパツラ) ポール・ウィアンコ (チェロ)

ヴィヴァルディ：4つのヴィオラとチェロのためのコンチェルト (大槻晃士編)

Antonio Vivaldi：Concerto for 4 Violins and Cello in B Minor, Op. 3, No. 10, RV 580 (arr. Koji Otsuki)

1. 鈴木慧悟、ハヤン・パク 2. エンチ・チェン、山本一輝 3. 辻菜々子、藤原右京 4. 桂田光理、ヘス・イ
5. 山本成 6. ミンユ・シュ (以上ヴィオラ) 奥泉貴圭、ポール・ウィアンコ (チェロ) 大槻晃士 (指揮)

ルトスワフスキ：ヴィオラとチェロのための5つの小品『牧歌集』

Witold Lutosławski：Bucolics, 5 Pieces for Viola and Cello

小笹文音 (ヴィオラ) ポール・ウィアンコ (チェロ)

コダーイ：ジプシーがチーズを食べるとき (Emil Ludmány編)

Zoltán Kodály：Turot eszik a cigany (arr. Emil Ludmány)

1. ファイト・ヘルテンシュタイン、鈴木慧悟、桂田光理、チンハン・リン、山本成 2. ジュ・シェン、辻菜々子、ヘス・イ、山本由美子
3. 小笹文音、今井信子、ハヤン・パク、ミンユ・シュ 4. エンチ・チェン、大島亮、山本一輝、藤原右京、小早川麻美子 (以上ヴィオラ)

ヨハン・シュトラウス2世：皇帝円舞曲 作品437 (小早川麻美子編)

Johann Strauss II：Emperor Waltz, Op. 437 (arr. Mamiko Kobayakawa)

1. ファイト・ヘルテンシュタイン、鈴木慧悟、桂田光理、チンハン・リン、山本成 2. ジュ・シェン、辻菜々子、ヘス・イ、山本由美子
3. 小笹文音、今井信子、ハヤン・パク、ミンユ・シュ 4. エンチ・チェン、大島亮、山本一輝、藤原右京、小早川麻美子 (以上ヴィオラ)
奥泉貴圭、ポール・ウィアンコ (チェロ) 草冬香 (ピアノ)

フォーシーズンズコンサート 4 Seasons Concert in OTARU and TOKYO

2017年1月15日(日) 15時開演 小樽市民センター・マリホール

2017年1月16日(日) 19時開演 浜離宮朝日ホール (東京公演)

ピアソラ：ブエノスアイレスの四季 (小早川麻美子編)

Astor Piazzolla：Las 4 estaciones porteñas (arr. Mamiko Kobayakawa)

今井信子、ファイト・ヘルテンシュタイン、大島亮、チンハン・リン、エンチ・チェン、山本由美子、小笹文音 (以上ヴィオラ)

ポール・ウィアンコ (チェロ) 草冬香 (ピアノ)

ジョージ・ベンジャミン：ヴィオラ、ヴィオラ

George Benjamin：Viola, Viola

1. ジュ・シェン 2. 鈴木慧悟

***** 休憩 *****

ヴィヴァルディ：ヴァイオリン協奏曲集『四季』 (小早川麻美子編)

Antonio Vivaldi：The 4 Seasons (arr. Mamiko Kobayakawa)

1.ファイト・ヘルテンシュタイン (四季ソロ) 鈴木慧悟、ヘス・イ、山本一輝、藤原右京
2.辻菜々子 (春夏ソロ) エンチ・チェン (秋冬ソロ) 山本成、ミンユ・シュ
3.小笹文音 (春夏ソロ) ジュ・シェン (秋冬ソロ) チンハン・リン、桂田光理
4.大島亮 (四季ソロ) 今井信子、山本由美子、ハヤン・パク、小早川麻美子 (以上ヴィオラ)
奥泉貴圭 (チェロ) 大槻晃士 (ヴィオラ・ダ・スパツラ) 吉見伊代 (チェンバロ)

プログラム・ノート／河相 美帆

Programme Notes Miho Kawai 2013~15年度ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス参加／ソフィア王妃高等音楽院在学

■ 1月9日 小樽市民センター・マリホール

ニューイヤーコンサート

ライオネル・ターティス：

2つのヴィオラのためのヘンデルのパスサカリアによる変奏曲

世界中で愛奏されているヨハン・ハルヴォルセン (1864-1935)のヴァイオリンとヴィオラの二重奏曲『ヘンデルの主題によるパスサカリア』(1897)。ノルウェーに生まれたハルヴォルセンは、ヴァイオリニストおよびオペラ指揮者としての豊富な経験を活かして、G.F.ヘンデル(1685-1759)のハープシコード組曲 第7番 HWV432の最終楽章の主題をドラマチックなヴィルトゥオーゾ・ピースに昇華させました。

本日演奏するのはイギリスの名ヴィオリスト、ライオネル・ターティス(1876-1975)が、ハルヴォルセンの作品に基づきながらヴィオラ二重奏によってヘンデルの主題の魅力を表現することを試みたものです。中音域のヴィオラの音色によって主題が持つ情熱的な性格がよりクローズアップされ、私たちの心に迫ります。

ヨハネス・ブラームス：

チェロ・ソナタ 第1番 ホ短調 作品38

チェロ・ソナタ 第1番 ホ短調 作品38は、ヨハネス・ブラームス(1833-1897)が生まれ育ったドイツを離れウィーンに移り住んだ1862年から65年にかけて作曲されました。ブラームスは生涯を通じてバッハを熱心に研究し対位法の技術を駆使して作曲したことで知られていますが、このソナタの作曲にあたっては、ベートーヴェンのチェロ・ソナタを徹底的に分析したとされています。

第1楽章(Allegro non troppo)は、深い低音の魅力に溢れた主題がまるで交響曲のような広がりを持って展開されます。続く第2楽章(Allegretto quasi Menuetto)は、メヌエットの軽やかなリズムとクロマティックな和声とが一体となって、どこか寂しげなロマン主義的情緒に溢れ、第3楽章(Allegro)は、J.S.バッハ(1685-1750)の『フーガの技法』第13番の主題に基づくフーガが全体を

支配しています。3年の歳月をかけて練り上げられた緊密な構成の上に、先人達への強い尊敬の念とブラームス自身の瑞々しい感性とが結晶した完成度の高い一曲です。本日は、名作の誉れ高いこのソナタを1オクターブ上げてヴィオラで演奏します。

ヘンリー・パーセル：3声のソナタ 第1番 Z.790

イギリス音楽史上最も重要な作曲家の一人に数えられるヘンリー・パーセル(1659-1695)。イギリス王室の要職を兼任しながら、アンセムや賛美歌などの宗教音楽、イギリス・バロック音楽の記念碑と言われるオペラ『ディドとエネアス』等、数多くの優れた作品を残しました。

2つのヴァイオリンと低音楽器のための『3声のソナタ』第1番 ト短調(1683)は、ゆったりとした序曲にあたる部分に続く急(Vivace)・緩(Adagio)・急(Presto)・緩(Largo)の4つの楽章によって構成されており、速いテンポの楽章のポリフォニックな引き締まったキャラクターと、緩徐楽章の優美な旋律との対比が耳に心地よい魅力的な作品です。本日は大槻晃士によるヴィオラ、スパツラ、チェロのための編曲(二短調)でお聴きいただきます。それぞれ個性的な音色を持った3つの楽器の掛け合いをお楽しみください。

アントニオ・ヴィヴァルディ：

4つのヴィオラとチェロのためのコンチェルト

(『調和の靈感(L'estro Armonico)』作品3-10 RV580)

カトリック教会の慈善事業の一環として、捨て子の養育を目的に14世紀に建てられた由緒あるヴェネツィアのピエタ慈善院は、音楽の才能を持つ子女に対する教育を活発に行なったことで知られています。“赤毛の司祭”アントニオ・ヴィヴァルディ(1678-1741) は、1703年からの10年間このピエタ慈善院付属音楽院のヴァイオリン教師を務め、その後も生涯にわたってこの音楽院のために数多くのヴァイオリン協奏曲を作曲しました。

12曲から成るヴァイオリン協奏曲集『調和の靈感』作品3(1711)は、生前からヴィヴァルディの最高傑作として広く知られ、7歳年下のJ.S.バッハはこのうちの6曲をオルガンおよびチェンバロ独奏用に編曲しています。

4つの独奏ヴァイオリンのための第10番ト短調は、急(Allegro)・緩(Largo-Larghetto)・急(Allegro)の3楽章から成ります。緩徐楽章のハーモニーの移り変わりの美しさは、『調和の靈感』というタイトルの意味を表現してあまりあるものです。

大槻晃士は4つの独奏ヴァイオリンのために調性を原曲より5度下のホ短調に直して編曲しました。

ヴィトルト・ルトスワフスキ： ヴァイオリンとチェロのための5つの小品『牧歌集』

第二次世界大戦後のポーランドを代表する作曲家ヴィトルト・ルトスワフスキ(1913-1994)。共産主義によって自由な創作活動を制限されていた彼の初期の作風には、ポーランド民謡と新古典主義の影響が強く表れています。1952年に作曲されたピアノのための5つの小品『牧歌集』においても、民謡風の素朴な旋律がスタイリッシュなハーモニーによって理知的に構築されています。

本日お聴きいただくヴァイオリンとチェロのための編曲は、1962年にルトスワフスキ自身の手によってなされたものです。弦を擦ったり弾いたりして音を出す弦楽器の特性によって、民謡の生き生きとしたキャラクターがピアノ版よりも強調されていると言えるでしょう。5つの短い楽章は具体的な標題を持ちません。そこには一体、どのような世界が描かれているのでしょうか…?

ゾルタン・コダーイ： ジプシーがチーズを食べるとき

ブダペスト大学で哲学と言語学の博士号を修めるかわら作曲を学んだゾルタン・コダーイ(1882-1967)は、作曲家兼ハンガリー民謡の研究者として、「民族の母語」

である民謡やわらべうたを歌うことに基礎を置いた音楽教育体系の創造に情熱を傾けました。彼は児童混声合唱のための優れた合唱曲を数多く残し、その多くが今日でも日本を始め世界中で歌い続けられています。自ら蒐集した民謡を基に1925年に作曲されたアカペラの高声合唱曲『ジプシーがチーズを食べるとき』は2分程度の短い作品ですが、快活な主部と情緒豊かな中間部による3部形式によって構成されています。原曲を聴くと、歌詞の意味がわからずともその響きの面白さによって、まるでハンガリーの農民とジプシーの賑やかな生活風景が眼前に浮かんでくるかのようです。

この曲をヴァイオリン四重奏のために編曲したEmil Ludmányは、ハンガリーのヴァイオリストです。彼は今井信子の長年の友人で、今井が70歳の記念コンサートのアンコールで演奏したブルッフの『ロマンス』作品85の弦楽四重奏版をはじめとする数多くの作品をヴァイオリンのために編曲しています。

ヨハン・シュトラウス2世：皇帝円舞曲 作品437

『美しく青きドナウ』や『ピチカート・波尔カ』、オペレッタ『こうもり』の作者として知られる“ワルツ王”ヨハン・シュトラウス2世(1825-1899)。『皇帝円舞曲』作品437は「国王の建築」という名のベルリンの新しいコンサート・ホールの5日間にも及ぶ大規模な柿落し公演のために作曲されました。1889年10月21日の初演は、シュトラウス2世自身の指揮による100人も大編成のオーケストラによって大成功をおさめたと伝えられています。

小早川麻美子による編曲は、4つのヴァイオリンとチェロ、ピアノという編成で管弦楽の立体的な音響効果を表現するための細やかな配慮が随所に見られ、ヴァイオリンの音色を重ねることで、より甘美な重厚感が際立つ作品に仕上がっています。新年の幕開けにふさわしい華やかなウィнна・ワルツをどうぞお楽しみください。

■1月15日 小樽市民センター・マリナーホール ■1月16日 東京 浜離宮朝日ホール

フォーシーズンズコンサート

「天の下のすべてのことには季節があり、すべてのものには時がある」

旧約聖書 伝道の書『コヘレトの言葉』第3章1節より

アントニオ・ヴィヴァルディ(1678-1741)とアストル・ピアソラ(1921-1992)。約250年という時間と、北半球と南半球という地理的距離とを隔てて生まれた2つの音楽作品『四季』を、本日は小早川麻美子の編曲によるヴァイオリン・アンサンブルでお聴きいただきます。20世紀に生まれたヴァイオリン・デュオの傑作であるジョージ・ベンジャミン(1960-)の『Viola, Viola』の爆発的なエネルギーが、遠く隔たった時空を繋げてくれることでしょう!

アストル・ピアソラ：ブエノスアイレスの四季

ピアソラはイタリア系移民3世の子供としてアルゼンチンのブエノスアイレスに生まれ、4歳から15歳までアメリカのニューヨークで育ちました。アルゼンチンに帰国後は気鋭のバンドネオン奏者として頭角を現す一方、同郷の作曲家A.ヒナステラ(1916-1983)やフランスの名教師N.プーランジェ(1887-1979)に師事し、タンゴ音楽の可能性を追求した斬新な作品を次々と発表していきました。1965年、ピアソラは舞台劇『金の垂れ髪』の付随音楽の一つとして『ブエノスアイレスの夏』を作曲します。この直後に襲われた長いスランプを乗り越え、1969年に『秋』を作曲した時点で彼は4つ全ての季節を作曲することを決意し、1970年に『冬』と『春』を立て続けに作曲しました。『冬』と『春』にはバロック音楽を彷彿とさせる部分があり、ピアソラが作曲にあたりヴィヴァルディの『四季』を意識していたことが窺えます。ブエノスアイレスに暮らす移民によって育まれたタンゴは、彼らが抱える望郷の念を表現していると言われています。イタリア人の血を引きニューヨークで育ったピアソラも、季節が移り変わる度にブエノスアイレスに想いを馳せていたのではないのでしょうか。『ブエノスアイレスの四季』は、彼の故郷へのオマージュなのかもしれません。

即興的な要素を多く持つピアソラの作品を編曲するにあたり小早川麻美子はピアソラ率いる5重奏団(ヴァイオリン/ヴァイオリン、コントラバス、ピアノ、エレクトリックギター、バンドネオン)の音源を参考にし、ヴァイオリン7重奏とチェロ、ピアノという編成によってその世界を表現することを試みました。

ジョージ・ベンジャミン：ヴァイオリン、ヴァイオリン

イギリスの作曲家ベンジャミンは10代後半からO.メシアン(1908-1992)に師事し、若くしてその名声を確立しました。現在はロンドンの王立音楽大学において教鞭をとるほか、定期的にロンドン・シンフォニエッタを指揮しています。『Viola, Viola』は、東京オペラシティコンサートホール「タケミツメモリアル」のオープニング・コンサートのために委嘱にされ、1997年9月16日に今井信子とユーリ・バシュメットによって初演されました。このホールは日本を代表する作曲家・武満徹(1930-1996)が設計段階から監修を務めており、ベンジャミンは、ホールの完成を見ることになかった彼の死を悼み、彼の友人である今井とバシュメットが演奏することを想定してヴァイオリン・デュオの作曲に踏み切ったと語っています。

ベンジャミンは作曲にあたって、オーケストラのように深く多彩な音響を表現することを目指しました。冒頭の数フレーズのみ2つのヴァイオリンは明確に独立して存在しますが、エネルギーかつ技巧的なパッセージを目にも留まらぬ速さで繰り返しながら急速に1つに絡み合わせられ、ヴァイオリン・デュオであることが到底信じられないほどの多彩な音色を響かせます。

アントニオ・ヴィヴァルディ： ヴァイオリン協奏曲集『四季』

その生涯に500曲以上にのぼる協奏曲を作曲し、当時主流であった「合奏協奏曲」(複数のソリスト対オーケストラ)から、今日へと続く「独奏協奏曲」(1人のソリスト対オーケストラ)の様式を確立した“コンチェルト・マスター”ヴィヴァルディ。今日、世界中で『四季』という名で親



しまれているこの4曲は、1725年に出版されたヴァイオリン協奏曲集『和声と創意への試み (Il cimento dell'armonia e dell'inventione)』作品8の第1番から第4番までを指します。それぞれ3楽章から成り、各楽章に添えられたソネットと呼ばれる短い詩が独奏ヴァイオリンを中心とする弦合奏によって描写されていきます。ヴァイオリンの魅力を知り尽くしたヴィヴァルディの技術と創意の全

ヴァイオリン協奏曲 作品8-1 RV269 『春』**第1楽章** Allegro春がやってきた。小鳥たちは嬉しそうに歌って、春に挨拶する。泉はそよ風に合わせて、やさしくささやきながら流れ出す。やがて空は暗くなり、稲妻と雷鳴が襲ってくる。嵐が静まると、小鳥たちは再びうれしそうに歌い出す。

第2楽章 Largo花ざかりの美しい牧場では木々の葉がやさしくざわめき、羊飼いは忠実な犬をかたわらに眠っている。

第3楽章 Allegro牧歌的な牧笛の陽気な調べに合わせてニンフと羊飼いは踊る、輝くばかりの装いの春の中に。

ヴァイオリン協奏曲 作品8-2 RV315 『夏』**第1楽章** Allegro non molto - Allegro太陽が焼けつくように照るこの厳しい季節に、人も家畜も元気を失い、松の木さえも暑がっている。かっこうが鳴き始め、そしてしきりに山鳩とごしきひわが歌う。やさしいそよ風を追い払って、突然に北風が襲いかかる。羊飼いは泣く。荒れ狂う嵐の恐怖と、自分の不運に怖れおののいて。

第2楽章 Adagio羊飼いは疲れたからだを休めることもできない。稲妻とはげしい雷鳴、そして蚊や蠅の怒り狂う群れにおびやかされて。

第3楽章 Prestoああ、彼が恐れていたとおりになった。空は稲妻、雷鳴、はては雹や霰まで降らせ、熟した果物や穀物の穂をみなたたきつぶす。

てが結集した作品群だということができるでしょう。

小早川麻美子はこの『四季』をヴァイオラ4重奏とチェロ、通奏低音のために編曲するにあたり、調性を原曲から5度下げ、独奏パートを4つのヴィオラ・パートに分散させました。このことによりヴィオラの中音域の音色の魅力が引き立てられていると同時に、室内楽的な楽しさも増しています。

ヴァイオリン協奏曲 作品8-3 RV293 『秋』**第1楽章** Allegro村人たちは踊りと歌で恵まれた収穫を喜び祝う。バッカスの酒のおかげでこんなにわき立ち、みんな眠りこけるまで楽しむ。

第2楽章 Adagio molto一同が踊りと歌をやめたあとには、秋の穏やかな空気がこころよい。そしてこの季節はあまい眠りで、すべての者を気持ちの良い憩いへと誘う。

第3楽章 Allegro夜明けになると、狩人たちは狩りに出かける、角笛と鉄砲を持ち、猟犬たちを連れて。けものはすでにおびえ、騒がしい。鉄砲の音と犬の声に疲れ果て傷つき、おののいている。もはや逃げる力もなく、追い詰められて倒れる。

ヴァイオリン協奏曲 作品8-4 RV297 『冬』**第1楽章** Allegro non molto冷たい雪の中の凍りつくような寒さ。吹きすさぶ荒々しい風の中を行く。絶え間なく足踏みしながら走り、あまりの寒さに歯の根が合わない。

第2楽章 Largo炉端で静かに満ち足りた日々を送り、その間、外では雨が万物をうるおす。

第3楽章 Allegroゆっくりとした足取りで氷の上を歩く。転ばないように注意深く進んでゆく。乱暴に歩いて、すべてで倒れる。また起き上がって、氷の上を激しい勢いで走る。氷が砕け、裂け目ができるほど激しく。閉ざされた扉の外に出て、南風、北風、あらゆる風が戦っているのを聴く。これが冬なのだ。でも、何という喜びをもたらすのだろう。

プロフィール Profiles

■ 講師／ヴァイオラ奏者
今井 信子 Imai Nobuko
東京生まれ。国際的ヴァイオラ奏者として、ソロや室内楽で活躍、CD録音は50タイトルに及ぶ。ヴィオラのための音楽祭<ヴィオラスペース>や<東京国際ヴィオラコンクール>の創設など、世界の音楽界を牽引してきた。その功績に対しサントリー音楽賞、文化庁芸術選奨文部大臣賞、紫綬褒章、旭日小褒章など数多くの賞が贈られる。現在アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院、上野学園大学で後進の指導も行っている。2003年ミケランジェロ弦楽四重奏団結成。

2004年より小樽市で「ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス」講師を務め、2012年より小樽ふれあい観光大使。

■ 講師／バロック・スペシャリスト
大槻 晃士 Koji Otsuki
指揮者、ヴィオラ・ダ・スパツラ奏者。テンプル大学大学院合唱指揮科、東京藝術大学古楽科(バツハ研究留学)、インディアナ大学古楽科博士課程にて学ぶ。現在はマルボロ音楽祭で音楽司書長として芸術監督内田光子氏らのサポートに従事。同氏の要望により、近年は当音楽祭でバツハ・カンタータの指導に尽力する。バツハを鈴木雅明とヘルムート・リリンクに、バロックヴァイオリンを若松夏美とスタンリー・リッチーに、古楽アンサンブルを鈴木秀美の各氏に師事。ガムツト・バツハ・アンサンブル主宰。米国フィラデルフィア在住。

■ 編曲／ヴァイオラ奏者
小早川 麻美子 Mamiko Kobayakawa
桐朋学園芸術短期大学ヴィオラ専修卒業。今井信子氏の推薦により同氏が教授を務める上野学園大学に研究生として 2010から2012年次在籍。編曲を野平多美氏に師事。2011年より編曲に着手し、バロックからロマン派を中心とした数々の名曲をヴィオラをメインにした室内楽曲にアレンジ、国内外の数々の音楽祭や演奏家に作品を提供している。近年では、ヴィオラスペース2015にバツハ/ブランデンブルク協奏曲第3番 ヴィオラ合奏版(小樽ヴィオラマスタークラスによる委嘱作品)を寄稿、その模様がNHK-BSプレミアム「クラシック倶楽部」でも紹介された。

■ 専属ピアニスト
草 冬香 Fuyuka Kusa
東京芸術大学、同大学院修士課程修了。ドイツ国立フライブルク音楽大学ディプロム課程、ソリスト課程をそれぞれ最優秀の成績で卒業、国家演奏家資格を取得。第4回ローゼンストック国際ピアノコンクール第1位、アルトゥール・レプティエーエン国際ピアノコンクール第1位等受賞多数。ソロだけでなく、室内楽においても意欲的に活動、東京国際ヴィオラコンクールでは、全三回において公式ピアニストを務めている。元東京芸術大学非常勤講師。現在洗足学園音楽大学附属音楽教室非常勤講師。これまでに、杉本安子、渡部有子、小林仁、伊藤恵、ギルアド・ミシヨリの各氏に師事。

■ ヴィオラ・アシスタント
ファイト・ヘルテンシュタイン Veit Hertenstein
ジュネーヴ音楽院において今井信子にヴィオラを、タカーチ四重奏団に室内楽を学ぶ。2009年、第1回東京国際ヴィオラコンクールにて第3位と聴衆賞、同年ヨーロッパ放送連合コンクールで第1位。2011年ヤングコンサートアーティスト国際オーディション最優秀賞受賞。ヴェルビエ音楽祭、ラ・フォル・ジュルネ音楽祭、東京のヴィオラスペース等に参加。現在はバーゼル交響楽団首席ヴィオラ奏者、ドイツ・デトモルト音楽大学教授。

大島 亮 Ryo Oshima
桐朋学園大学卒、同大学研究科修了。岡田伸夫氏に師事。また、故ムステイスラフ・ロストロポーヴィチ、ロバート・マン各氏等の指導を受ける。第11回コンセール・マロニエ21第1位、第7回東京音楽コンクール第1位、第42回マルクノイキルヘン国際コンクールディプロマ賞受賞。国内の各オーケストラに客演し、室内楽奏者としても積極的に活動するほか、秋吉台室内楽セミナー講師として後進の指導にもあたる。現在神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者。

山本 由美子 Yumiko Yamamoto
桐朋学園大学音楽学部卒業後、デトモルト国立音楽大学、ケルン国立音楽大学マスターコースにて、ヴィオラをブルーノ・ジュランナ、ライナー・モーク、今井信子、室内楽をアマデウス弦楽四重奏団に師事。1981年、ウォルフガングホックコンクール第1位、1982年、ジュネーブ国際コンクール銅メダル。1998年度バロックザール賞受賞。1983年、西ドイツ国家演奏家資格取得。現在京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師、相愛大学音楽学部非常勤講師。

■ ゲスト／チェロ奏者
奥泉 貴圭 Takayoshi Okuizumi
ドイツ・トロッシngen音楽大学を経て、2007年より2年間バイエルン国立歌劇場の契約団員として研鑽を積む。2006年度文化庁在外研修員。1998年札幌ジュニアチェロコンクール優秀賞。2004年ピバホールチェロコンクール2位。2009年に帰国後、上野学園大学講師、オーケストラ客演首席奏者の活動を始めとし、ソロ、室内楽奏者として国内外で演奏活動を行っている。 これまでにチェロを上原与四郎、河野文昭、原田禎夫、イフ・サバリーの各氏に師事。

ポール 賢司 ウィアンコ Paul Kenji Wiancko
チェロ奏者兼、作曲家として米国、ヨーロッパ、中南米、日本、および南アフリカで広く活動する。ポーランド放送交響楽団とルトスワフスキのチェロ協奏曲を、ブルーノートでチック・コリアと共演するなど、世界各国のオーケストラをはじめ、ミドリ、ヨーヨー・マ、グアルネリ弦楽四重奏団から、ジョー・コッカー、スタンリー・クラークなど多彩なアーティストとも共演する。これまでにトウィツケナム、ニューベリーポート、メソウバレー室内楽フェスティバルのレジデントコンポーザーをつとめ、2016年夏にはカラムーア・フェスティバルの委嘱で作曲した。



■ゲスト／チェンバロ奏者

吉見 伊代 Iyo Yoshimi

東京藝術大学チェンバロ科卒業、同大学院修士課程修了。チェンバロを橋本ひろ、鈴木雅明、広澤麻美の各氏に、室内楽を故小島芳子、鈴木秀美、若松夏美、野々下由香里、山岡重治の各氏に師事。2011年、イタリアへ渡り、ナポリのチェンバロ奏者エンリコ・バイアーノ氏のもと研鑽を積む。イタリア国立ドメニコ・チマローザ音楽院に在籍し、2014年、褒賞最高点を受けディプロマを取得。現在、ソロとアンサンブルの両方において国内またはスウェーデン、イタリア、アルゼンチンの各地で演奏活動を行い、後進の指導にもあたっている。

■ピアノ・アシスタント ※1/14ヴィオラブーケコンサート出演



古賀 大路 Taiji Koga

上野学園大学音楽専攻科在学。2009年第63回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会 第1位、全国第3位。横浜市民賞受賞。2011年第80回日本音楽コンクール第3位。現在、横山幸雄・干野宜大・田中照子の各氏に師事。



高橋 優介 Yusuke Takahashi

上野学園大学音楽学部専攻科在籍。第10回東京音楽コンクールピアノ部門第1位及び聴衆賞受賞。NPO法人芸術・文化若い芽を育てる会第5回奨学生。現在、横山幸雄、久保春代、川田健太郎の各氏に師事。



■受講生／ヴィオラ

エンチ・チェン En-chi Cheng (台湾)

カーティス音楽院。2010年台湾全国学生音楽コンクール・ヴィオラ部門第1位。



藤原 右京 Ukyo Fujiwara

桐朋学園大学音楽学部1年。佐々木亮氏に師事。



ミンユ・シュ Ming-Yu Hsu (台湾)★

カーティス音楽院。2016年ターティス国際ヴィオラコンクールにてセミファイナリスト。



桂田 光理 Hikari Katsurada

東京藝術大学1年。第16回日本演奏家コンクール弦楽器部門第1位、第24回日本クラシック音楽コンクールピオラ部門第3位、第7回日本イタリア協会コンクール・ムジカアルテ優秀大賞。



小笹 文音 Ayane Kozasa

カーティス音楽院卒業後、ドイツ、クロンベルグアカデミーにてマスター修了。2011年プリムローズ国際ヴィオラコンクール優勝、同時に最優秀室内楽賞、最優秀委嘱作品賞受賞。2012年、Aizuri(藍刷り)カルテットを結成。現在フィラデルフィア室内管弦楽団ヴィオラ首席、フィラデルフィア管弦楽団所属。



ヘス・イ Hae-sue Lee (韓国)★

カーティス音楽院。2016年ターティス国際ヴィオラコンクールでセミファイナリスト。



チンハン・リン Ching Han Lin (台湾)

ザルツブルク・モーツァルトウム大学。2012年台湾全国学生音楽コンクール・ヴィオラ部門第1位。



ハヤン・パク Hayang Park (韓国)

延世大学校2年。クロンベルク・アカデミー・フェスティバル、フォーシーズンズ室内楽フェスティバル等の音楽祭やセミナーに参加。



ジユ・シェン Ziyu Shen (中国)

クロンベルク・アカデミー。第11回ターティス国際ヴィオラコンクール第1位、2014年ヤングコンサートアーティスト国際オーディション最優秀賞受賞。



鈴木 慧悟 Keigo Suzuki

桐朋学園大学音楽学部を経て2016年9月よりカーティス音楽院に在学。第32回霧島国際音楽祭賞受賞。2014年ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール第1位。



辻 菜々子 Nanako Tsuji

東京藝術大学2年。第21回クラシック音楽コンクール弦楽器の部第4位。オホーツク紋別音楽セミナー参加。



山本 一輝 Itsuki Yamamoto

桐朋学園大学音楽学部ヴィオラ科2年。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2014コース部門第2位。第9回ミュージックアカデミーinみやぎ2016にて奨励賞受賞。



山本 成 Naru Yamamoto

桐朋学園大学ヴィオラ専攻3年。2015年彩の国さいたま芸術劇場今井信子リサイタル『次代へ伝えたい名曲』にヴィオラカルテットで共演。

★印はアジアからの受講生に対する奨学金助成対象者。
※チラスン等でご案内していた受講生のサンジン・イさんはやむを得ぬ事情により今回は参加しません。



自然の恵みと 温かな人々 小樽には 自由と創造性がある いま生まれた音楽 という感じがします



ヴィオラ講師
今井 信子 インタビュー

「ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス」は世界中からヴィオラを学ぶ若者が集まる音楽教育プロジェクト。約二週間にわたり小樽市朝里川温泉の宿舎でレッスンと練習に明け暮れ、成果を発表する。マスタークラスの発案者で講師を務める今井信子が、小樽と音楽、そこに集う仲間たちへの思いを語った。

一年の計は元旦の小樽にあり

小樽で一年を振り返ると、原点に戻って再出発する気持ちになれます。冷たく澄んだ空気、美味しい食事と温泉、仲間と音楽漬けの毎日は大切な時間です。長くマスタークラスを支えてくれる朝里のまちづくりの会の皆さんと一緒に正月を祝いますが、同世代のせいかシェアするものが年々多くなる気がします。皆さんには本当にお世話になっていて、夏にはホテルを見て、バーベキューでホッケやホタテを食べたのが楽しい思い出ですし、冬は朝里クラッセホテルの裏山をカンジキで歩いたのが素晴らしい体験でした。

世界から集まる受講生

インターネット配信の動画をみたり参加者の口コミも広まって、皆が小樽のマスタークラスに行きたいと切望します。今回の受講生の国籍は、日本7名、韓国2名、台湾3名、中国1名で、平均年齢20歳ですが欧米の音大で学ぶ実力者ばかり。ヴィオラは大器晩成な楽器と言われていましたが、彼らがこの先どう成長するのか楽しみです。心強く頼もしく感じます。

素敵で楽しい音楽が盛りだくさん！ ニューイヤーコンサート(9日)

最初に演奏するパッサカリアはヴィオラ二重奏。素晴らしく華やかでお客様は喜んで下さると思います。弾く方には大変な難曲です。私はピアノの草冬香さんとブラームスのチェロソナタのヴィオラ版にチャレンジします。冬香さんは1回目から参加していますが、その成長ぶりには驚くばかり。音楽に個性があり、まろやかで素敵な音には聴いていて大いに刺激されます。ヴィオラのレパートリーはすべて知っている彼女は、小樽にはなくてはならない存在です。

大槻晃士さんの古楽器が加わる優雅で楽しいバロック音楽もあります。バッハについて彼は底知れない知識を持ち、それを言葉にして、どんな生徒にも良いものを引き出しながら伝えられる最高の先生です。

ルトスワフスキの二重奏を弾く小笹文音さんとポール・ウィアンコさんはアメリカを拠点に活躍するユニークで多才な音楽家です。皇帝円舞曲は随分昔にピアノトリオで演奏したことがあって、その時からいつかヴィオラ合奏をと考えていたので、今回これが小樽で実現してすごく嬉しいです。

二つの四季を聴き比べる贅沢 フォーシーズンズコンサート(15日、16日)

スタイリッシュな作風のピアソラは、ピアノを入れて編成に工夫をしたので、ヴィヴァルディと好対照になると思います。編曲の小早川麻美子さんはエレガントな女性なのですが、その作品はメリハリが利いて大胆。ご本人もヴィオラを弾くからツボを心得ているし、彼女の曲を毎年弾ける私たちは幸せです。

ベンジャミンの二重奏は短時間に物凄い速さであらゆることが起きる、最高度の技術が要求される曲。演奏するジユ・シェンさんは、感じたものを無理なく自然体で表現でき、歌うような甘い音色にはうっとりします。鈴木慧悟さんは努力家でスポーツマンタイプ、とても上手くてハタリも効かせるし、お客様を引きつける力があります。

ヴィヴァルディの四季は、前年に小樽と台湾で弾きました。ヴィオラ合奏で演奏すると普通の室内楽編成とは全然感じが違って、迫力が増します。「夏」などは特に映えると思います。ヴィオラでしか出せないハーモニーや響きもあり「冬」のゆっくりとした二楽章などはとても美しいです。



マスタークラスを支える仲間たち

ヴィオラが多勢のアンサンブルにすんなり溶け込んで下さるチェロの奥泉貴圭さんの存在は、私達にとって幸運です。ハードなスケジュールも難曲もなんでもこなして、本番ですごく頼りになる存在です。

ヴィオラの山本由美子さんは心が洗われるような素直で清らかな音楽をなさる。小樽では聴講生のためのレッスンを毎回引き受けて下さって、とても慕われています。本当に信頼おけるパートナーです。

ファイト・ヘルテンシュタインさんは、彼が感じた繊細さを美しい音色で表現し、自分の言葉で演奏する才能がある。同時に物事をロジカルに捉えられるから教えることも大好き。大島亮さんは無口だけど自分の中にいつも沢山の質問を持つ向上心の塊のような人。彼の一番素晴らしいのは、ヴィオラの本当の音色、どすの利いた音から甘い音まで出すことができる点で、すごく説得力があります。ファイトと大島さんには、これから更に音楽を極め、後進を指導すると期待しています。



ヴィオラマスタークラスとは・・・

今井信子氏の発案を受けて2004年7月にスタートした「ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス」は、2007年から開催時期を1月にかけて今回で13回目を迎えました。小樽市郊外の朝里川温泉は冬はスキー場が隣接する温泉リゾート地ですが、この豊かな自然の中で、外界の雑音に煩わされることがなく充実したレッスンを行えることが大きな魅力となっています。

今年度、今井信子氏の推薦と動画審査で選ばれた受講生は13名。1月4日から16日までの期間中は決められたスケジュールに従い、今井信子とアシスタントによる個人レッスン、演奏会に向けてのアンサンブル練習を、食事を除く午前10時から午後11時まで集中的にこなします。また2015年より大槻晃士氏によるバッハ塾も開設、受講生は全員参加のセミナーの他、バロック音楽に関する個人レクチャーでアドバイスを受けることができます。

受講生にとって発表の場が非常に多いのも特徴で、本プログラムにある3つのコンサートの他に、レッスンの成果を発表する「ヴィオラブーケコンサート」、高齢者サロンや地域の子供会への訪問演奏会、観光スポットでの街角コンサートなどにも複数回参加しています。地域へのアウトリーチ活動では、受講生が主体となってプログラムを考え司会をつとめます。

マスタークラスの受講生公募は毎年3月にホームページでアナウンスがあり、4月下旬が申込締切です。受講料と交通宿泊費は自己負担となります。

尚、アジアから参加する受講生の受講料を一部助成する奨学金制度は、諸角憲治氏がヴィオラマスタークラス実行委員会経由で毎年支援を行なっています。対象者は受講審査後に決定されており、今年度は韓国と台湾の2名が選ばれました。

ホームページでは参加者プロフィールや最新スケジュールを更新しております。またこれまでの演奏会の動画アーカイブも公開しています。

- ◎ ホームページ <http://vmc-otaru.info/>
- ◎ お問い合わせメール vmc.takano@gmail.com (実行委員会/高野)

ヴィオラ家族の故郷に

1996年に初めて小樽のマリンホールでバッハのガンパソナタを弾きました。まだ地方でのヴィオラ演奏会は珍しく、東京ではなくてもこんな演奏会が行えるという感激と、お客様がとても温かかった印象が残っています。小樽の魅力は一口では言えませんが、都心から少し離れているからこそ自由になれる、自然豊かで、人々との交流もそうですが、そこに創造的なものを感じます。音楽がいま生まれたようにいきいきとしています。ここで学んだ若い音楽家たちには、この小樽スピリッツを忘れないで欲しいです。

ヴィオラ仲間と集まればいつも小樽の話題になります。私達の中では日本の小樽ではなく世界の小樽なんです。年月を重ねて仲間が増え、プロもアマチュアもなく音楽好きなら誰でも溶け込める大きなヴィオラの家族。この楽しい雰囲気を地元小樽はもちろん、東京の演奏会でも伝えられたらいいと思います。

(2016年11月10日取材/高野るみ)



ゆらぎの里ヴィオラマスタークラス参加者 2004年～2017年

■ 講師

今井 信子 Imai, Nobuko 04~17
岡田 伸夫 Okada, Nobuo 04~05
大槻 晃士 Otsuki, Koji 15~17

■ ヴィオラ受講 (87名)

阿部 春花 Abe, Haruka 08, 09
赤坂 智子 Akasaka, Tomoko 04, 05
青木 篤子 Aoki, Atsuko 04, 05
有田 朋史 Arita, Tomohiro 12, 15
朝吹 園子 Asabuki, Sonoko 04, 05
エンチ・チェン Cheng, En-Chi 12, 14~17
越後 なつみ Echigo, Natsumi 07
藤原 右京 Fujiwara, Ukyo 17
深澤 麻里 Fukazawa, Mari 09, 10, 12
後藤 彩子 Goto, Ayako 04, 05
ジャオティ・グオ Guo, Xiaoti 14
芳賀 明子 Haga, Akiko 08
イエジン・ハン Han, Yejin 11, 12
ハイウォン・ハン Han, Hae-Won 10
原 裕子 Hara, Yuko 05, 07, 08
原 麻理子 Hara, Mariko 07, 08, 14
橋本 歩 Hashimoto, Ayumi 10
林 雄一郎 Hayashi, Yuichiro 04
ファイト・ヘルテンシュタイン Hertenstein, Veit, 15~17
廣狩 亮 Hirokari, Akira 04, 05, 07
ミンユ・シュ Hsu, Ming-Yu 17
ヨジン・ファン Hwang, Yeo-Jin 09
飯 顕 Ii, Akira 09
井上 望美 Inoue, Nozomi 10
井上 典子 Inoue, Noriko 13, 14
ジユイ・カン Kang, Jui 05
叶澤 尚子 Kanouzawa, Naoko 05
笠川 恵 Kasakawa, Megumi 05
加藤 大輔 Kato, Daisuke 09, 10
桂田 光理 Katsurada, Hikari 15, 17
河相 美帆 Kawai, Miho 13, 14, 15
金 孝珍 Kim, Hyojin 04
ソンウン・キム Kim, Sungeun 05
セジョン・キム Kim, Ce-June 10, 11
木下 雄介 Kinoshita, Yusuke 13
小早川 麻美子 Kobayakawa, Mamiko 13~17
神原 玲奈 Kohara, Rena 12, 13, 14
小泉 理子 Koizumi, Ayako 05
小峰 航一 Komine, Koichi 05, 07
小笹 文音 Kozasa, Ayane 17

ウェイティン・クオ Kuo, Wei-Ting 10
シンル・ライ Lai, Ting-Ru 13
ティムウエイ・ラム Lam, Tim-Wei 09, 15
スンウォン・リ Lee, Seungwon 13
ファユン・イ Lee, Hwayoon 16
サンジン・イ Lee, Sung-Jin 16
ヘス・イ Lee, Hae-sue 17
チンハン・リン Lin, Ching-Han 13, 14, 16, 17
ジャンジュエン・リウ Liu, Zhangjuan 16
シェン・リュウ Lu, Xiang 11
前 南有 Mae, Nau 05
牧野 葵美 Makino, Kimi 09, 10, 12
丸山 奏 Maruyama, Kanade 07
松田 みどり Matsuda, Midori 09, 10
松本 有理 Matsumoto, Yuri 04, 05
松山 香澄 Matsuyama, Kasumi 09, 10, 12
三木 香奈 Miki, Kana 10
ウィリアム・マレー Muray, William 16
中 恵菜 Naka, Meguna 13, 15
小熊 佐絵子 Oguma, Saeko 04, 05, 07
沖田 孝司 Okita, Koji 10
大野 若菜 Ono, Wakana 11, 12
大島 亮 Oshima, Ryo 04, 05, 08, 12~17
ハヤン・パク Park, Hayang 17
タマーシュ・ロジヨシュ Rozsos, Tamas 10, 11
坂口 翼 Sakaguchi, Tsubasa 04
猿渡 美穂子 Saruwatari, Mihoko 11
ジユ・シェン Shen, Ziyu 15, 16, 17
正田 響子 Shoda, Kyouko 16
須田 祥子 Suda, Sachiko 04
杉中 景子 Suginaka, Keiko 04
杉田 恵理 Sugita, Eri 08
鈴木 慧悟 Suzuki, Keigo 14, 15, 16, 17
田原 綾子 Tahara, Ayako 14, 15, 16
高橋 奨 Takahashi, Susumu 05
高尾 真里恵 Takao, Marie 11
瀧本 麻衣子 Takimoto, Maiko 04, 08
冨田 大輔 Tomita, Daisuke 04, 05
スジェン・ツァイ Tsai, Shih-Hsien 12
坪之内 裕太 Tsubonouchi, Yuta 16
辻 彩子 Tsuji, Ayako 04
辻 菜子 Tsuji, Nanako 16, 17
渡部 咲耶 Watabe, Sakuya 14, 15
山口 真 Yamaguchi, Makoto 11, 13
山本 由美子 Yamamoto, Yumiko 09~17
山本 成 Yamamoto, Naru 15, 16, 17
山本 一輝 Yamamoto, Itsuki 17

■ ヴァイオリン (11名)

後藤 和子 Goto, Aiko
市川 映子 Ichikawa, Eiko
井上 静香 Inoue, Shizuka
川又 明日香 Kawamata, Asuka
北野 紫帆 Kitano, Shiho
三原 久遠 Mihara, Hisao
永井 公美子 Nagai, Kumiko
佐橋 まどか Sakitsu, Madoka
島田 真千子 Shimada, Machiko
清水 まゆみ Shimizu, Mayumi
植村 太郎 Uemura, Taro

■ チェロ (5名)

廣狩 理栄 Hirokari, Rie
宮田 大 Miyata, Dai
奥泉 貴圭 Okuizumi, Takayoshi
ポール・ウィアンコ Wiancko, Paul
吉岡 智広 Yoshioka, Tomohiro

■ コントラバス

斎藤 正樹 Saito, Masaki
助川 龍 Sukegawa, Ryu

■ ピアノ (8名)

有吉 亮治 Ariyoshi, Ryoji
飯村 智子 Imura, Tomoko
古賀 大路 Koga, Taiji
草 冬香 Kusa, Fiyuka
鈴木 慎崇 Suzuki, Yoshitaka
高橋 優介 Takahashi, Yusuke
田中 玲奈 Tanaka, Rena
田中 利恵 Tanaka, Rie

■ チェンバロ

吉見 伊代 Yoshimi, Iyo

■ バンドネオン

三浦 一馬 Miura, Kazuma

■ クラリネット

西田 佳代 Nishida, Kayo

■ 箏

難波 加奈子 Nanba, Kanako

■ バリトン

辻 博之 Tsuji, Hiroyuki

※敬称略・アルファベット順・数字は受講参加年
※2006年は夏期から冬期へ移行のため開催なし



Congratulations!

地域の文化とまちづくりを応援します
北海道新聞中販売所
小樽市新光 4-1-16
☎ 0134-51-2121 FAX.52-0088

森の天空 露天風呂

大自然の壮大な景色に洗われる瞬間に五感すべてが解放されるひととき。心に止めておきたい瞬間になる。

ご宿泊プラン (1泊2食付)
■スタンダードルーム ■デラックス和洋室
お一人様 11,800円(税別)~ お一人様 15,000円(税別)~

ニセコ昆布温泉 ホテル 北海道虻田郡ニセコ町415
Tel. 0136 (58) 3800
<http://kanronomori.com/>

雪ほたるの湯

やさしいホテルのイルミネーションに包まれてゆつたりと寝るやわらかな湯。森がくれる癒しを心ゆくまで味わってください。

露天風呂付き客室プラン
3~4名様 1室ご利用 1泊2食付
お一人様・税込 16,350円より

スタンダードツイン宿泊プラン
3名様 1室ご利用 1泊2食付
お一人様・税込 12,030円より

小樽 朝里クラッセホテル
小樽市朝里川温泉2丁目676 TEL 0134-52-3800
<http://www.classe-hotel.com/>